４年「地震からくらしを守る」　（９～１０月　９時間　）

**（１）小単元の目標…**この単元は学習指導要領の内容(３)ア（ア）（イ），イ（ア）に基づいて行う。

自然災害から人々を守る活動について，過去に発生した地域の自然災害，関係機関の協力などに着目して，聞き取り調査をしたり地図や年表などの資料で調べたりしてまとめる。災害から人々を守る活動を捉え，その働きを考え，表現することを通して，地域の関係機関や人々は，自然災害に対し，様々な協力をして対処してきたことや，今後想定される災害に対し，さまざまな備えをしていることを理解できるようにする。

**（２）評価規準**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| ・過去に発生した地域の自然災害，関係機関の協力やそこで働く人々の働きなどについて，聞き取り調査をしたり年表などの資料で調べたりする。必要な情報を集め，読み取り，災害から人々を守る活動を理解している。・調べたことを絵地図や表，文などにまとめる。地域の関係機関や人々は，自然災害に対し，さまざまな協力をして対処してきたことや，今後想定される災害に対し，さまざまな備えをしていることを理解している。 | ・過去に発生した地域の自然災害，関係機関の協力などに着目して，問いを見いだし，災害から人々を守る活動について考え，表現している。・自然災害が発生した際の被害状況と災害から人々を守る活動を関連付けて，県内の人々の命や財産を守るなど，それらの活動の働きを考えたり，災害が起きたときに自分自身の安全を守るための行動の仕方を考え，自分にできる自然災害への備えを選択・判断したりして表現している。 | ・災害から人々の安全を守る活動に関心を持ち，予想や学習計画を立て，意欲的に調べている。・学習したことを基に，地域で起こり得る災害を想定し，必要な備えをするなど，自分たちにできることを考えようとしている。 |

**（３）知識の構造図**

**中心概念**

**まとめる**

　市は，地震から地域の人々を守るために，国や県と協力し，緊急時の連絡体制などを整備するとともに，地域では自主防災組織の活動や防災訓練への参加など，災害に対し，さまざまな備えをしている。　❼

　**具体的知識**

　・地域で起こり得る災害を想定し、自分たちに何ができるのかを考える。　　　　　　　　❽❾

・災害時に地域の人同士が助け合って地域を守る自主防災組織がある。市と協力して地域を守る活動を行っている。　　　　　　　　　　❻

　・仙台市では、大地震が起きたときに備えて、地域の防災訓練を行い、地域の人々も参加して避難行動計画の立案を進めている。　　　　　❺

・仙台市では、大地震による津波の発生にそなえて、避難場所と津波避難ビルの指定を行っている。また、津波から避難する方法についても、パンフレットを作成して呼びかけを行っている。　　　　　　　　　　　　　　　　　　❹

　・学校や地域の公園などの防災倉庫には、非常用の食料や飲料水等が備蓄されている。　　　❷

　・大地震が起きると、建物の倒壊，津波などによって多くの被害がでるため、学校では日頃から避難訓練をして大地震にそなえている。　　❶

・防災訓練

・ひなん行動計画

・自主防災隊

・消防団

・自分のくらしは自分で守る

・家族防災会議

・防災計画

・津波ひなんビル

・ひなん訓練

・東日本大震災

・きん急の食料

・防災倉庫

**用語・語句**

**問題解決的な学習の過程**

**つかむ**

**調べる**

**いかす**

**（４）指導計画**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学習過程 | 　　　　　主発問　　　　　主な学習活動・内容 | 　　　□指導上の留意点☆評価計画 | 資料 |
| 　　学習問題をつかむ（３時間） | 地域で過去に発生した地震には，どのようなものがあるのだろうか。❶1. 東日本大震災や宮城県沖地震など，地域で過去に発生した大地震について確認する。

　大地震が起きると，建物の倒壊，津波などによって多くの被害がでるため，学校では日頃から避難訓練をして大地震にそなえている。 | □「わたしたちのまち仙台」を活用する。☆宮城県で過去にどのような地震災害が起こったかに関心を持ち，調べようとしている。　　《主体的に学習に取り組む態度》☆東日本大震災の写真から，大地震が起きたらどんな被害が起きるのか理解している。　　　≪知識≫ | ・わたしたちのまち仙台・ハザードマップ |
| 　身近なところで，地震に備えているものがないかを考え，学習問題をつくりましょう。❷①学校に置いてある災害用の物品を調べる。②学校や地域の公園などの地震への備えについて，気付いたことを話し合う。**学習問題**地震からくらしを守るために，市や地域の人々は，どのようなことをしているのでしょうか。 | □学校の防災備品だけでなく，地域の備蓄倉庫や公園などの公共施設についても，目を向けるように助言する。☆市や地域の地震対策や工夫について問いを見いだし，学習問題を考えようとしている。《思考・判断・表現》 | ・公園の防災倉庫・避難場所の看板 |
| 　学習問題をもとに，学習の進め方をかくにんしよう。❸1. 学習問題について，予想を立て，実際に調べる計画を立てる。

例＜調べること＞・地震が起きたときにそなえた，仙台市の取組。・地震が起きたときにそなえた，地域での取組。例＜調べ方＞・インターネットで仙台市のホームページを見る。・仙台市の防災担当の人に話を聞く。・地域の防災を行っている人に話を聞く。例＜まとめ方＞・市や地域の取組を表にまとめる。 | □①調べること②調べ方③まとめ方を明確にする。調べること，調べ方については，共通理解ができるようによく話し合う。☆市や地域の地震対策を調べる学習問題について予想したり，調べ方を考えたりしようとしている。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　《思考・判断・表現》 | ・教科書 |
| 　学習問題について調べる（３時間）　　　　　　　　　　　　　　　調べる（８時間） | 　地震からくらしを守るために，市ではどのような取組をしているのでしょうか。❹①フローチャートや写真資料を見て，地震が起きた時の連絡の仕組みについて理解する。②多くのお客さんに来てもらう工夫について考える。　仙台市では，大地震による津波の発生に備えて，連絡の仕組みを整え，市長が本部長となり様々な機関と連携して活動にあたれるようにしている。 | □仙台市では，防災計画を立てて，地震が起きたときに消防や警察と連携し，地震災害への対応を準備していることに気付かせる。☆資料から，仙台市が災害に備えて準備をしていたことで，実際に起きた地震でも力を合わせて活動できたことを読み取っている。《技能》 | ・わたしたちのまち仙台・「せんだい防災の手引き」・仙台市HP‐地震・津波への備え |
| 　地震からくらしを守るために，地いきでは，どのような取組をしているのでしょうか。❺①様々な立場の人々が自分の地域の避難行動計画を立てる理由を考える。　仙台市では，大地震が起きた時の教訓を踏まえ，地域の防災訓練を行い，地域の人々も参加して避難行動計画の立案を進めている。 | □地域ごとの避難行動計画は，市役所が勝手に立てるのではなく，地域の代表の人たちの意見を取り入れて，使いやすいものにしていることに気づかせる。☆「連合町内会長さんの話」から，東日本大震災が起きる前から，地域の人たちが自ら避難行動計画を立てていたことの重要さに気づいている。　　　　　　　　《技能》 | ・わたしたちのまち仙台・「せんだい防災の手引き」 |
| 　地域の自主防災組織として，災害に備えてどんな準備をしているのか，消防団の方や，町内会長さん等にインタビューしてみよう。❻1. 自主防災組織の一員としてリーダーシップをとって災害に備えた取り組みをしている方の話を聞く。

　自分たちの住む身近な地域にも，互いに協力し合って災害から地域を守ろうとしている人がいる。その際，市役所，消防署，警察などとも協力し合っている。 | □自主防災隊は，自分の地域は自分たちで守るという考え方で続けられていることに気づかせる。□自主防災隊と市役所，自主防災隊と他の自主防災隊はお互いに協力し合っていることに気づかせる。☆自主防災隊と市役所，消防署や警察や自衛隊などがお互いに協力し合って，自分たちの地域を守ろうとしていることの意味を考えている。　　　《思考・判断・表現》 | ・仙台市危機管理課 |
| 学習問題をまとめる（１時間） | 　地震からくらしを守るための，市や地いきの取組についてまとめてみましょう。❼①疑問に思ったことやもっと調べたいことを書く。・津波避難ビルの数は足りているのかな。・メールが届かない人はどうするのだろう。・自主防災組織だけで本当に災害時に救助や誘導ができるのかな。・車いすや寝たきりの人の救助はどうするのかな。②学習問題についてまとめる。・市は，地域の協力を得て，地域の避難行動計画を立てる。・市も自主防災隊も防災訓練を行っている。お互いに協力し合っている。・自主防災組織では，日頃から訓練を行っている。新しい消防設備などは，市の補助を受けながら購入している。仙台市は，地震から地域の人々を守るために，国や県と協力し，きんきゅう時にそなえている。地いきでは自主防災組織の活動や防災訓練に参加することなどを通して，災害の防止につとめている。 | □今まで学習した教科書の資料や，ノートの記述などを見直させて，防災計画，防災訓練，自主防災組織の三つのことばを使ってまとめる。□疑問点は，何でも気づいたことを書かせるとよい。後ほど教師がまとめて市役所や自主防災隊の担当者に質問して答えると良い。☆市や自主防災隊の相互協力関係についてまとめ，表現している。《思考・判断・表現》 | ・学習ノート（調べたてわかったこと）・これまでの板書記録・「せんだい防災の手引き」 |
| いかす（２時間） | 　地震からくらしを守るために，わたしたちができることはどんなことでしょうか。❽❾①日頃から非常時のためにそなえておく物品を確かめる。②家族防災会議を開く準備をする。どんなことを家族と相談してくるか，以下のように，観点を決める。③各家庭で話し合ってきたことを発表しあう。　地震からくらしを守るために自分ではどんなことができるのかをよく考えるとともに，家族防災会議を開いて，地震発生時の家族の約束事を決めておく。 | □自分の家庭にある物品が十分か自分で必ず点検させるようにする。学校で発表の時間をつくれれば，「自分の家にも○○があったらいいなあ。」などと視野を広める良い機会になる。□家族防災会議後に発表会をもつことで他の家庭の防災の考え方がわかって参考になることが多く，自分の家で話し合った内容を見直す良い機会となるようにする。☆地域で起こり得る災害について話し合い，必要な備えをするなど，自分たちにできることを考えようとしている。《主体的に学習に取り組む態度》 | ・わたしたちのまち仙台・せんだい防災の手引き |

**（５）ワークシート**

・市の取組と，地域の取組を並列にして表にまとめさせることで，それぞれのつながりを意識できるようにする。

・必ず，自分とのかかわりについて考えさせることで，学習問題を身近にとらえさせるようにする。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | **自分の予想** | **取組の実さい****（調べてわかったこと）** | **ぎもんに思ったこと，もっと調べてみたいこと** |
| **仙台市**地震からくらしを守る取り組み | **必ず予想をさせてから，調べ学習に入る。** | ・津波避難ビルの数は足りているのかな。・メールが届かない人はどうするのだろう。 | ・ほかの市や町ではどうなっているのかな。・仙台市が大変な時は，他からおうえんに来てくれるのかな。 |
| **地いき**地震からくらしを守る取組 | ・いつも遊ぶ公園に倉庫があった。あそこに食料の備えがあるかもしれない。・お隣さんと助け合えるように，仲良くする。・車いすや寝たきりの人の救助はどうするのかな。 | ・近所同士のつながりが，いざというとき大きな力になる。・学校だけでなく，町内会でも避難訓練をやっている。・お年寄りが逃げ遅れないように，定期的に家を訪ねている人がいる。 | ・地域で地震が起きた時に，安全に避難できる場所っていくつあるのかな。 |

せんだい防災の手引き（仙台市HPからダウンロード可）：http://www.city.sendai.jp/kurashi/bosai/bosai/1214288\_1387.html